

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 令和2年8月3日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン (LRG)
検査コード	6438
JLAC10	5C245-0000-023-062-01
診療行為コード	160223850
検体量	血清 0.4mL
保存・容器	冷蔵・A1→A2
実施料（判断料）	276点（生化I）
所要日数	3～11日
検査方法	LA法（ラテックス凝集比濁法）
基準値	16.0 μ g/mL 未満 （炎症性腸疾患の活動期の判定補助における参考基準値）
実施施設	LSIメディエンス

保険収載名称：ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン (LRG)

- 保険注釈：1. 血清を検体として、ロイシンリッチ α 2グリコプロテインを潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定する場合は、3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
2. 潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として、カルプロテクチン（糞便）又は大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

《 解 説 》

ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン (Leucine-rich alpha 2 glycoprotein ; LRG) は、炎症局所で産生される新しい血清バイオマーカーです。特に潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患 (Inflammatory bowel disease ; IBD) において、内視鏡検査との相関が良好なことより簡便に評価することが可能となります。CRPと組み合わせることで、活動期の判定補助に有用であるとされています。

《 注 意 》

感染症、リウマチ等の炎症性疾患、一部の悪性腫瘍においてLRG値が上昇することがありますのでご注意ください。

《 検査要項 》②

検査項目名称	マイクロアレイ血液検査
検査コード	7328
JLAC10	該当なし
検体量	全血 5.0mL (2.5mL×2本)
保存・容器	冷蔵・YX (専用)
実施料 (判断料)	未収載
所要日数	28 ~ 31 日
検査方法	マイクロアレイ法
基準値	設定なし
報告形態	別紙報告
実施施設	NK メディコ

《 解 説 》

マイクロアレイ血液検査は、がん細胞を攻撃する際に生じる遺伝物質 (m-RNA) のパターンを測定することで胃がん、大腸がん、胆道がん、膵臓がんの4つのがんのリスクを調べる検査です。

《 注 意 》

- 専用容器 (YX) 2本必要
- 採血ホルダーを使用すると専用採血管の内容物が逆流する恐れがありますので、シリンジ採血を推奨致します。
- 検体採取方法が守られていない時は再採血をお願いする場合がございます。
- 本検査の結果のみでがんの有無は判定できません。大腸ポリープなどの既往歴がある方や転移がんについては、結果が正しく出ない場合があります。

《検体採取方法》

- ① 空腹時での採血を推奨します（必須ではありません）。
- ② 必要採血量は5mLです。
- ③ 採血後速やかに専用採血管（YX）2本に規定量まで採血分注します。
※採血管の黄色テープが2.5mL相当です（下図参照）。



- ④ 約10回程度転倒混和し、2時間以上室温で放置します。